



大船渡市議会議員 佐藤優子 活動報告

編集・発行責任者：佐藤ゆうこ後援会

ゆうこだより

2024年1月発行



○1974年7月31日生 日頃市町出身・現在大船渡町下平在住

○経歴／日頃市小学校・日頃市中学校・大船渡高校・東北学院大学経済学部卒業、衆議院議員秘書、NPO法人職員などを経て、株式会社カメリア社中を起業。2020年4月から大船渡市議会議員〔議会の所属〕総務常任委員会委員・議会運営委員会副委員長・大船渡地区環境衛生組合監査委員

ゆうこの毎日

2023年10月～12月

新しい年となりました。市議会議員の職を預からせていただき早いもので、間もなく4年になります。

『政治は生活そのもの』皆さまのお声を市政に反映し “みんなが安心して暮らせる大船渡” を目指し、【ゆうこ・あるく】を続けてきましたが、皆さまから更なるご指導ご鞭撻を賜りたく存じます。今年1年が昇り龍のごとく飛躍の年となりますように。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



眺望日本一！
大船渡温泉からの日の出



10月14日■働く婦人の家利用者友の会交流会。今年も「のびのび体操」の一員として参加。終了後、中学校時代の恩師お二人と！



住田高校1年生 地域創造学「自分たちの地域を知る」

10月25日■高校生が考える地域課題について答える大船渡代表ゲストスピーカーとして参加。常に若者たちの応援団でありたい



大船渡町本増寺さん

11月1日■昨年に引き続き、私の活動報告会を開催いただきました。活動をお伝えする機会をいただき、本当にありがとうございます。



11月12日～25日「女性に対する暴力をなくす運動」期間

11月12日■気仙地区男女共同参画サポーター、おおふなと男女共同参画「うみねこの会」のみなさんのパープルリボン啓発活動へ



佐藤ゆうこ後援会「ひら・椿の会」

11月12日■30名弱のご参加で「お茶っこ会」を開催。市政に対するご意見を聞かせていただき、前半は筆文字アート講座。



国際ソロプチミスト大船渡

11月17日■20年以上続く活動。会員間で集めたタオルの寄贈。この日は、ひまわりカフェ『ぞうきんプロジェクト』さんへ



末崎町出身・シンガーソングライター 濱守栄子さんから寄贈！

11月26日■大船渡市スポーツ協会に対し、子供用ビブスの寄贈。なかなか帰郷できないはまちゃんに変わりお届けしました。



大船渡市民族芸能継承フェスティバル

12月3日■平こども七福神の応援も。ふるさとの宝・郷土芸能は地域文化そのもの。人々の繋がりを保たせる。とても大切



ゆうこの部屋「みんなでおしゃべり会」

12月23日■12月議会閉会直後だったので今回のテーマは「市政報告」。今後こまめに『ゆうこの部屋』を開催していく予定です！



おおふなと産直海鮮まつり

12月24日■大船渡魚市場にて、多くの人で賑やかに開催。お買い得品が盛りだくさん。ワカメの詰め放題に挑戦しました笑



三陸町越喜来泊地区

12月28日■越喜来に移住し、養殖漁業を営んでいる地域おこし協力隊の岡田真由美さんにお声がけいただき、ホタテ養殖の漁場へ。今夏の高水温の影響か約8割が死滅。来年分も同様。写真は笑っているけど、海の中は大変深刻な事態。短期と長期的な支援策の必要性を訴えていかなければ。





急速に進む、人口減少・少子高齢化。人口規模に見合った行政経営への転換が大船渡市の喫緊の課題。

新しい年、大船渡市が力を入れる分野はココ！

令和6年度大船渡市行政経営方針

『X(トランスフォーメーション)の展開による人口減少下での行政経営の確立』

<重点施策>

・地域経済を支える地場産業の振興 ・ともに支え合う地域づくりの推進 ・子ども・子育て支援の充実

<横断的な重点施策>

1. デジタル化の推進 2. シティプロモーションの推進

1. シティプロモーションの推進について

優子：「シティプロモーション推進」その目的と具体的な取組は？



答弁：市長 当市の認知度やブランド力の向上を図ること。人の呼び込みやモノの循環による地域活性化、持続可能なまちづくりを進める上で、極めて重要な施策の一つ。DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進しながら、関係人口の拡大、移住・定住の促進、ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進、ブランド力の向上に重点的に取り組む。

ゆうこの視点 R5年度もシティプロモーションの推進を掲げていますが、何のために推進するのかを今一度明確にすること。あれもこれもではなく、重点的な具体的取組と目標の数値化を図り、施策を強力に推進すべきと考えます。

「大船渡には何もない…」と言いがちだけど、そんなことはない！

優子：大船渡温泉さんが3年連続絶景部門で第1位を受賞しましたが、これは大船渡湾の眺望に対する評価。市のPRにも積極的に活用していくべきでは？

答弁：部長 受賞を契機として、大船渡湾の眺望や既存の日の出眺望スポット等を一体的にPRしながら、関係団体と共に早朝観光に関する取組について検討を進める。

ゆうこの視点 大船渡の魅力の1つが、眺望と食だと思います。民間事業者とともに、朝食を組合せた「早朝観光」プランの開発や、日の出眺望スポットのSNS発信など。当たり前は当たり前でないこと。今あるものをどう活用していくかがポイントで、人口減少による財源不足をどう補っていくか。今後“稼ぐ観光”の視点とシティプロモーションの観点がより必要と感じます。

優子：市も参画してきた「三陸・大船渡東京タワーさんままつり」大船渡の知名度アップと水産業の活性化という目標を達成したことなどにより、R4年度に事業中止。その後、市民有志が継続しているが、市として関わりをもっていくべきでは？

答弁：部長 このイベントの方向性を見極めながら、イベントを活用したシティプロモーションや観光PRの効果的な実施について検討していく。

ゆうこの視点 一度途絶えた繋がりをもとに戻すのは至難の業。港区や東京タワーからも後援をいただいていることから、末永く継続できる方策を市としても検討いただきたいと思います。

市政への疑問・質問、地域でのお困りごとなど、お気軽にお聞かせください！

住所：〒022-0002 大船渡市大船渡町字下平 14-1

電話：090-7283-0348 FAX：0192-22-7726

E-mail：yuko.ofunato@gmail.com



大船渡の未来はみんなで作る

ゆうこの用語辞典



●DX（デジタル・トランスフォーメーション）

自治体においては、デジタル技術・データを活用して、住民の利便性を向上させること、市役所内の業務効率化を図り、行政サービスの更なる向上に繋げていくことを目指します。

●シティプロモーション： 地方自治体によって行われる、地域の認知度向上やブランド力向上を目的として行われる活動。交流人口や関係人口の拡大をねらう地方自治体の「宣伝・広報・営業活動」

●大船渡市の将来推計人口 *社人研発表

2023年11月末	2025年	2030年	2040年	2050年
32,908人	32,025人	29,297人	24,058人	19,269人

本定例会で決まったこと

令和6年7月（仮称）大船渡市こども家庭センターをサンリア SC 内に開設

全ての妊産婦、子育て世帯、子供等への一体的な相談支援を行う「こども家庭センター」の設置が市町村の努力義務とされ、当市では屋内公園完備のセンター開設へ。年間予算は約1000万。DXの力で、子ども以外の手続きもできる、役所の出張機能をもたせることなど求めていると思います。



行政視察で学びを深めてきました

コロナが第5類となり、今年は全国各地へ行政視察に出向きました。特にふるさと納税、大船渡市との違いは何であるのか。各地の取組を参考に大船渡スタイルを考えていきたいと思います。

■総務常任委員会■

<テーマ：地方創生に係る人口減少対策>ふるさと納税、移住施策について

・気仙沼市・静岡県伊東市、焼津市 他

■会派■

・かまいし DMC<河東社長講和>

・気仙沼市<宮城県 1位年間 49億ふるさと納税（R4度）その取組>

・下関市・福岡市・長崎市 他

■定数等検討委員会■ ・北上市議会



総務常任（委）では南三陸町へも伺いました。



北上市では梅木副議長からご説明いただきました。

末崎・大船渡町議員団大船渡中学校・新設統合にむけて

大船渡・末崎地区学校統合推進協議会において、令和7年4月に大船渡中学校と末崎中学校が新設統合されることで合意が図られました。末崎町・大船渡町議員団は、生徒たちが安全安心に通学できる環境整備は大変重要と捉え、学校側へのヒアリングや、担当職員を交えた現地視察など行い、議論を深めてきました。そして、12月27日に、安全な通学路整備と、生徒・保護者と、そこに住まう地域住民の安心のため市長・教育長に通学路改良についての要望書を提出しました。



要望内容 *一部抜粋

▶国道45号から通学路への乗り入れを容易にするための道路拡幅の検討を！

▶小林縫製様付近へのカーブミラーの設置、壊れたガードレールの修繕を！

▶BRT 魚市場駅付近のボックスカルバート内、冬期安全歩行ができるような対策を！他